

ハンモック

この1年半ほど家に居る時間が随分と増えた。夜の会合はもとより出張もめっきり減り、ほぼ決まった時刻に帰宅して夕食を採る。休日もほぼ家に居る。新しい生活に馴れなかつたのはひと月ほどで、今ではすっかりルーティーンとして定着した。週に5日は外食し、年に60泊ほどホテルで過ごす日々が再び訪れたときに、従前のようにできるかどうか心配になる始末である。

かといって時間を持て余しているかといえばそうではなく、日中も行く当てがなく、長時間事務所で過ごすために疲労度が増し、食後の脇の荷重に耐えきれず就寝時刻は大幅に前倒しとなる。ややもすると、読書の時間の確保さえ覚束ない始末である。自分はなんて怠け者なのであろうか。そう自嘲しながら眺めていたあるネット広告に興味を沸かした。

かねてより怠惰な生活を支援する用具に密かな憧れを持っていたこともあり、早速取り寄せ書斎の梁に吊り下げしてみた。そして、見事なカタナリー曲線を描いてぶら下がる、薄っぺらな布地に身を預けてみた。

空に舞う筋斗雲かシャボン玉のような浮遊感を味わいながら、至上の怠惰な時間を過ごせることを期待していた。しかし、思惑は見事に裏切られた。長手方向には自身の体重の重心を頂点として2本のロープに最大限の張力が掛る。そのくせ、短辺方



書斎の梁に吊り下げたハンモック

向には振り子運動が生じる。2本のロープと布の張力さえ信頼に足るものとは思えない。まるで、ロープが切れかかった吊り橋をハラハラドキドキ渡る昔の漫画のようだ。

考えてみれば当然のことである。2本のロープと薄っぺらな布の張力と自分の体重が釣り合う自分自身がライブロードであることを実感する吊り構造の高度な緊張状態を味わいながら、周期的な振り子の振動に身を任せる。誰にも目撃されることはないとはいえ、自分自身ですらなんとも片腹痛い。

それでも数を重ねるうちに身の処し方と快適性の相互関係を理解した。張力を引き起こす荷重の頂点を臀部の頂点に、水平面に対して上半身を約50度、下半身を約40度におけば張り詰めた布の上での快適さが得られることが分かった。至極の怠惰感を得られる快楽まではもう少しの道のりである。

(益子一彦)

年末年始の楽しみ

編集後記

- 去年は行けなかった年末年始の年越し温泉旅行、去年キャンセルしてしまった宿を再度予約して、温泉を満喫してきました。(望月)
- 恒例の先輩宅でのクリスマス会。昨年はリモートで各家庭自宅調理も面白かったけど、今年は久しぶりに集合できそうで楽しみ!(会田)
- 昨年伺えなかった、浅草鶯神社の「酉の市」に今年こそ伺いたいと思います。今年はいろいろう願いをして叶えていただきました。(立石)
- 年末は24日に仕事納めをして、25日から瀬戸内の島々に行ってきます。直島に豊島、そして淡路島。今からとても楽しみです!(関本)
- コロナ禍の2年目の正月。猫ちゃんたちと食っちゃ寝を目論んでいます。(中澤)

- 卒業設計前にはほんの少しだけ息抜き。1日中暖かい布団に包まれる計画を練っております。気持ち切り替えてもうひと踏ん張り!(長谷川)
- 年末年始に遊ぶボードゲームのカルカソヌ。数家族でプレイするので皆助け合っていますが、個人主義の我が家は親子の戦いです。(市村)
- パッと目立つ年賀状を毎年検討しています。それを機に今年はこちら数年会えていなかった友人にも会いたいと思います。(井筒)
- 年末年始の凛とした空気感が好きです。冷たく清々しい空気により全てがリセットされる感覚と元旦の初詣を楽しみにしています。(青木)
- 紅白の後の除夜の鐘を聞きながら、恒例の二年参りでしょうか。正月くらいは、心身共にゆつくりとしたいですね。(吉田)

あとがき

編集 : 公益社団法人 日本建築家協会
 関東甲信越支部 広報委員会
 委員長 : 市村宏文
 副委員長 : 中澤克秀
 委員 : 会田友朗・吉田 満・望月厚司・関本竜太・長谷川理奈
 編集長 : 関本竜太
 副編集長 : 望月厚司・会田友朗
 編集ワーキングメンバー : 広報委員+長澤 徹・有泉絵美・青木律典・井筒悠斗・知見徹摩・立石博巳
 編集・制作 : 南風舎

Bulletin 290 2022 冬号
 発行日 : 令和3年12月15日
 発行人 : 大西摩弥
 発行所 : 公益社団法人 日本建築家協会 関東甲信越支部
 〒150-0001 東京都渋谷区神宮前 2-3-18 JIA 館
 Tel : 03-3408-8291(代) Fax : 03-3408-8294
 印刷 : 株式会社 協進印刷

■ JIA 関東甲信越支部関連サイト一覧
 ・(公社) 日本建築家協会 (JIA) <http://www.jia.or.jp/>
 ・JIA 関東甲信越支部 <https://www.jia-kanto.org/>

■ 定価 300円+税/会員の購読料は会費に含まれています。

© 公益社団法人 日本建築家協会 関東甲信越支部 2021